

4年度発中畜第4488号
令和4年11月9日

公益社団法人 静岡県獣医師会 会長 様

公益社団法人 中央畜産会
会長 森山 裕
(公印省略)

令和4年度臨床獣医師防疫体制強化事業講習会等の開催案内について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
本会事業の推進につきましては、平素よりご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

近年、周辺諸国における家畜衛生状況は緊迫の度を増しており、口蹄疫は、依然としてアジア地域で発生が報告され、アフリカ豚熱はヨーロッパ及びアジアにおいて発生が拡大しております。国内においても平成30年以降豚熱の発生が続いており、死亡及び捕獲された野生のいのししの検査結果からも豚熱の陽性事例が確認されるなど緊迫した家畜衛生状況にあります。

これら緊迫している特定家畜伝染病等の防疫支援強化に不可欠な基礎臨床診療技術の早期習得と臨床現場で家畜伝染性疾病等に即応できる臨床診療技術水準の確保を図るため、公益社団法人中央畜産会では公益財団法人全国競馬・畜産振興会の助成を受けて令和2年度から3か年実施する臨床獣医師防疫体制強化事業の一環として、以下の通り講習会を実施いたします。昨年度に続き、今年度も新型コロナウイルス感染防止対策のため動画の視聴による受講を実施することと致しました。

受講を希望される方は、ホームページ上の専用申込ページにて申込みをお願いいたします。

1 講演内容 (カリキュラム別紙)

- (1) 特定疾病等に関する防疫技術研修
- (2) 特用家畜等に関する衛生管理技術研修
- (3) 家畜伝染病等危機管理対策強化講習会

2 対象者

産業動物獣医師であって、海外悪性伝染病等の病性、防疫措置に関する技術の向上に意欲のある者とします。

3 申込み方法

中央畜産会ホームページ上のバナーから専用申込ページに入り、必要事項を入力してください。

受講申込みは令和4年11月1日(火)に開始し、第1期から第3期に分けて受付けます。受講希望者には、各期の受付終了ごとにID・パスワードと講義資料を送付します。また、返信用封筒とアンケート用紙を送付しますので、受講後は必ずご記入の上返送してください。

動画の公開は令和5年2月3日(金)まで、アンケートの返送は同2月10日(金)投函までとします。

- (1) 第1期募集
令和4年11月21日(月)まで申込み分
- (2) 第2期募集
令和4年11月28日(月)まで申込み分
- (3) 第3期募集
令和4年12月12日(月)まで申込み分



事務連絡
令和4年11月10日

都道府県獣医師会 各位

公益社団法人 中央畜産会
衛生指導部
立崎

令和4年度臨床獣医師防疫体制強化事業講習会等の開催案内について（追加資料送付）

日頃より当会の事業実施につきましては、特段のご協力を賜り御礼申し上げます。
先日送付いたしました案内文書におきまして、当方の不手際により、（カリキュラム別紙）の添付が漏れておりましたので、送付いたします。

大変申し訳ございませんでした。

なお、当講習会の開催案内につきましては、公益社団法人中央畜産会 HP の下記 URL に掲載しておりますので、併せて案内申し上げます。

<http://jlia.lin.gr.jp/eisei-kenshu/>

よろしく願いいたします。

(連絡先)

公益社団法人 中央畜産会 衛生指導部

(担当：立崎 (たつざき))

TEL 03-6206-0832 FAX 03-5289-0890

メール：eisei@sec.lin.gr.jp



令和4年度臨床獣医師防疫体制強化講習会（カリキュラム）

近年、周辺諸国における家畜衛生状況は緊迫の度を増しており、国内においても緊迫した家畜衛生状況にあります。

このような状況から、基礎臨床診療技術の早期習得と家畜伝染性疾病等に即応できる臨床診療技術水準の確保を図ることが求められています。

このため、公益社団法人中央畜産会では公益財団法人全国競馬・畜産振興会の助成を受けて第一次診療及び初期防疫措置を担う中堅産業動物診療獣医師に対する診療技術の習得及び防疫措置支援の体制を充実し、防疫水準を向上維持するため、本年度も動画配信形式による講習会を実施いたします。

受講を希望される方は、▼[申込みのご案内]をご覧くださいのうえ、希望する講習会の〔申込み〕ボタンから受講申込フォームを開き、必要事項を入力送信してください。動画受講の際に必要な ID/パスワードと講習資料を送付いたします。また、返信用封筒とアンケート用紙を送付しますので、受講後は必ずご記入のうえ返送してください。

1 講習内容

(1) 特定疾病等に関する防疫技術研修

| カリキュラム | 講師 | |
|------------------------------|---|------|
| 牛のウイルス性下痢 (BVD) | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 動物感染症研究領域 ウイルスグループ 主任研究員 安藤 清彦 | 新規 |
| 牛のサルモネラ症 | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 人獣共通感染症研究領域 腸管病原菌グループ 研究員 新井 暢夫 | 新規 |
| 豚の海外伝染病の病性と診断 (豚熱・アフリカ豚熱) | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 衛生管理研究領域 病理・生産病グループ 上級研究員 山田 学 | 全編改訂 |
| 海外伝染病の病性と診断 (口蹄疫等) | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 越境性家畜感染症研究領域 海外病グループ 獣医師 森岡 一樹 | 全編改訂 |

| カリキュラム | 講師 | |
|---|--|----------------------|
| 鶏の海外伝染病の病性と診断 (高病原性インフルエンザ) | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 動物衛生研究部門 人獣共通感染症研究領域 新興ウイルスグループ グループ長 内田 裕子 | 令和3,4 年収録 一部改訂 |
| 牛伝染性リンパ腫の病性と診断 —その1 BLVの診断・検査法と対策 | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 動物衛生研究部門 動物感染症研究領域 ウイルスグループ 研究員 西森 朝美 | 令和3年 収録 |
| 牛伝染性リンパ腫の病性と診断 —その2 BLVの病態について | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 動物衛生研究部門 動物感染症研究領域 ウイルスグループ 主任研究員 安藤 清彦 | 令和3年 収録 |
| 豚の呼吸器病について | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 動物衛生研究部門 疾病対策部 生物学的製剤製造室 室長 高木 道浩 | 令和3年 収録 |
| 牛のヨーネ病の病性と診断 | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 動物衛生研究部門 研究推進部 研究推進室 推進チーム長 永田 礼子 | 令和2年 収録 一部改訂 |
| 悪性伝染病の侵入防止及び輸出入 検疫状況 | 農林水産省 動物検疫所 検疫部 動物検疫課 課長 福原 久江 | 新規 |
| 家畜伝染症予防法～法の仕組み と法改正について～ | 農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 元総務班 総括係長 鈴木 康介 | 令和2年 収録 一部改訂 |

(2) 特用家畜等に関する衛生管理技術研修

| カリキュラム | 講師 | |
|----------------------------|---|--------------------|
| ジビエ利用に関する食品衛生上の 取扱いについて | 麻布大学 公衆衛生学第二研究室 教授 森田 幸雄 | 新規 |
| 蜜蜂の飼養と疾病対策 | 玉川大学 農学部先端食農学科 玉川大学学術研究所 ミツバチ科学研修センター教授 中村 純 | 令和3年 収録 一部改訂 |
| イノシシの防除と資源としての 可能性について | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 動物行動管理グループ 上級研究員 平田 滋樹 | 令和2年 収録 |

| カリキュラム | 講師 | |
|--|--|------------|
| あひる、うずら等の特用家さんの飼養衛生管理～高病原性鳥インフルエンザ対策等～ | 東京農工大学 農学部共同獣医学科 獣医衛生学教授 竹原 一明 | 令和3年 収録 |
| ニホンジカの生態と被害対策 | 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 関西支所 主任研究員 八代田 千鶴 | 令和2年 収録 |
| 山羊の飼養衛生管理と取扱い | 独立行政法人家畜改良センター 茨城牧場長野支場 種苗業務課 元係長 岡部 健太郎 | 令和2年 収録 |
| めん羊の主な疾病と寄生虫管理 (内科疾患を中心に) | 東京大学 大学院農学生命科学研究科 動物医療センター 教授 猪熊 壽 | 令和2年 収録 |
| ダチョウの飼養衛生管理について | 東京農工大学 農学部共同獣医学科 獣医衛生学 教授 竹原 一明 | 令和2年 収録 |

(3) 家畜伝染病等危機管理対策強化講習会

| カリキュラム | 講師 | |
|--|---|--------------------|
| 高病原性鳥インフルエンザの感染経路を踏まえた鶏舎の管理 (令和3、2年度・疫学調査報告を参考に) | 株式会社ピーピーキューシー 代表取締役 白田 一敏 | 新規 |
| 搾乳牛の職業病『乳房炎』の日本の現状と乳房炎防除 | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 衛生管理研究領域 病理・生産病グループ 主任研究員 長澤 裕哉 | 新規 |
| 牛の呼吸器病原菌と薬剤耐性菌の動向 | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 動物感染症研究領域 細菌グループ 主任研究員 上野 勇一 | 新規 |
| 特定家畜伝染病防疫指針の改正 | 農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 家畜防疫対策室 元防疫企画班課長補佐 青山 葉子 | 令和3年 収録 一部改訂 |
| 飼養衛生管理基準について | 農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 家畜防疫対策室 元病原体管理班 課長補佐 古庄 宏忠 | 令和3年 収録 一部改訂 |

| カリキュラム | 講師 | |
|-----------------------------|---|--------------------|
| 日本の家畜防疫の歴史 | 公益社団法人中央畜産会 参与 小倉 弘明 | 令和2年 収録 |
| 防疫作業及び移動式レンダリング装置の設置・運営について | 農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 家畜防疫対策室 元防疫業務班 課長補佐 下平 宏己 | 令和2年 収録 一部改訂 |
| イノシシの農場への侵入防止および捕獲等の注意点について | 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 動物行動管理グループ 上級研究員 平田 滋樹 | 令和2年 収録 一部改訂 |
| 家畜分野の薬剤耐性菌対策 | 農林水産省 動物医薬品検査所 元総括上席研究官 嶋崎 洋子 | 令和3年 収録 |
| 畜舎におけるネズミ対策 | 岐阜大学 社会システム経営学環 応用生物科学部野生動物資源学 准教授 森部 絢嗣 | 令和2年 収録 |
| 畜舎への野生動物侵入防止について | NPO 法人 Wildlife Service Japan 代表 森元 萌弥 | 令和3年 収録 |

2 申込みのご案内

講習会の動画には、「今年度新規に制作した講座」と「昨年以前の動画を再公開する講座（一部のスライドを改訂更新している場合を含む。）」があります。お申込みに当たっては、「全講座の資料を希望する」か「新規講座の資料のみを希望する」かを選択することができます。

なお、「新規講座の資料のみを希望する」を選択した場合でも、動画については全ての講座を視聴することが可能です。

受講申込みは令和4年11月1日（火）に開始し、第1期から第3期に分けて受け付けます。

受講希望者には、各期の受付終了ごとにID/パスワードと講義資料を送付します。尚、資料の送付には、各期の受付終了後10日程度を要しますのでご了承ください。

・第1期募集

令和4年11月21日（月）まで申込み分

・第2期募集

令和4年11月28日（月）まで申込み分

・第3期募集

令和4年12月12日（月）まで申込み分

(連絡先)

公益社団法人 中央畜産会 衛生指導部
(担当: 立崎)

TEL 03-6206-0832 FAX 03-5289-1890

メール: eisei@sec.lin.gr.jp